

会議の経過	
開会年月日時刻	令和6年5月28日（火） 午後3時00分
閉会年月日時刻	令和6年5月28日（火） 午後4時20分
会議の場所	館林市役所 501AB会議室
会議次第	
1. 開会 2. 会議録署名委員の指名 3. 前回会議録の承認 4. 教育長事務報告 5. 議事 議案第37号 館林市田北東集会所運営委員の委嘱について 議案第38号 館林市野辺集会所運営委員の委嘱について 議案第39号 学校運営協議会委員の委嘱について 議案第40号 館林市立図書館協議会委員の委嘱について 議案第41号 館林市学校給食運営委員会委員の委嘱について 議案第42号 令和6年度教育費補正予算について (非公開) 6. その他 7. 閉会	

会議の経過			
出席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番	木戸浩之 栗原昇 金子千秋 川島健治 堀口哲哉	
欠席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番		
提案説明のため 出席した者	教育長 教育次長 教育総務課長兼学校給食センター所長 生涯学習課長 参事兼学校教育課長 文化振興課長 スポーツ振興課長 向井千秋記念子ども科学館長 図書館長 総括係長 書記	川島健治 戸叶俊文 木村和好 廣澤篤行 平井智久 中村豊 高橋一哲 石崎治 森田秀利 荒川博一 江原康仁	

会議の経過	
教育長	それでは、定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 (午後 3 時 0 0 分) 本日の日程は別紙のとおりです。 次に、日程第 2 会議録署名委員を指名します。 今回の署名委員は 1 番 木戸委員、2 番 栗原委員を指名いたします。 次に、日程第 3 前回会議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議ないものと認め、そのようにいたします。 次に、日程第 4 教育長事務報告をいたします。 一般事項(1) 令和 6 年度関東地区都市教育長協議会総会が、4 月 25 日と 26 日に新潟県長岡市のホテルニューオータニ長岡で行われました。総会では、令和 5 年度の事業及び決算と、令和 6 年度の事業案及び予算案が承認されました。役員選出では、関東地区の会長に茨城県日立市の教育長が、監事に藤岡市の教育長が選出・承認されました。また、文部科学省による行政説明等や、児童文学者の斎藤惇夫氏による記念講演があったほか、翌日の分科会では第 2 分科会学校教育に出席しました。次に、(2) 県市町村教育長協議会第 1 回定例会が、5 月 13 日に群馬県庁で行われました。今回の会議では、協議事項はありませんでした。そのほか、連絡事項として「群馬教育ビジョン(第 4 期群馬県教育振興基本計画)について」等、各所管から連絡がありました。私からの報告は、以上でございます。続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。 (事務局から「なし」の声あり)
教育長	それでは今回の事務報告につきまして、質疑がありましたらお願いしたいと思います。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	2 ページの工事に関すること、第三小学校と美園小学校のトイレ工事が載っております。両校とも工事費が 1 億 5,000 万円以上かかるということですがけれども、どのような工事内容になるのか教えていただきたいと思います。
教育総務課長	はい、教育長。

会議の経過	
教育長 教育総務課長	はい、教育総務課長。 こちらの工事につきましては、昨年度も実施しましたトイレ洋式化の工事になります。いわゆる建築工事ですから建物本体、部屋を改造したりする工事と、トイレの便座や排水管の工事をする機械設備工事にそれぞれ分けて行うものでございます。第三小学校と美園小学校が今年度実施することになっております。説明は以上でございます。
堀口委員	やはり様々なものが高騰しているということで、工事費も随分上がっているのかと思うのですが、子どもたちが過ごしやすい学校生活を送ることができればいいなと思います。よろしくお願いします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	5 ページに青色防犯パトロール実施者講習会がありますが、青色防犯パトロールの現状を教えてくださいと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	まず、青色防犯パトロール実施者講習会についてご説明申し上げます。青少年育成推進員連絡協議会及び青少年補導センターを対象として、毎年6月に2回行っております。今年度につきましては、6月7日（金）に市役所会議室で、6月8日（土）に城沼公民館講堂で、館林警察署の生活安全課の方を講師としてお招きして実施する予定でございます。講義はいずれか1日を受講していただきますと、3年間有効のパトロール実施者証が手渡される形になります。続きまして実際のパトロールですが、今年度につきましては5月13日（月）から開始いたしました。92名の補導員が19班に分かれ、土日祝日を除いて毎日実施しております。パトロールの予定箇所につきましては、主任青少年指導員より事前に2か所ほどパトロールしていただきたい箇所を提示しており、それを基に各班でコース設定し、パトロールしている状況でございます。以上でございます。
栗原委員	パトロールする車は何台くらいで市内を巡回しているのでしょうか。
生涯学習課長	パトロール車につきましては1台のみとなっております。そちらに3名ないし2名と、ときによって人数は変動するのですが、補導員に乗車いただいて巡回を行っているような状況でございます。以上でございます。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。

会議の経過	
教育長 金子委員	はい、金子委員。 8ページの青少年センター運営状況報告の活動実績についてです。4月1日から5月1日まで活動実績なしということで、この時期は補導員の中に継続の方がいらっしゃると思うのですが、そういった方々にお願いすることはできなかったのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。今年度、青少年センター補導員会でパトロールを行うにあたり、基本的な考え方や重点目標、そして具体的な活動目標等を総会時に説明し、ご理解をいただいた上で活動していただいた方がより望ましいという考えもございまして、総会後の5月13日より実際にパトロールの方を始めさせていただいた状況です。以上でございます。
金子委員	そうしますと、新しく委嘱された方と今まで何年もやっていらした方が一緒にスタートするという事でよろしいわけですね。この時期はおよそ1か月半お休みになっておりますが、子どもたちにとって一番環境の変わる大切な時期だと思います。継続の方は恐らく多いと思うのですが、この時期がお休みになってしまうのはもったいないといいますが、せめて小中学生の下校時間の見守り体制を整えてほしいなという希望があります。皆さん様々な事情があって、特別班編成も難しいところもあるかと思いますが、そういった点ももう少し考えていただければと思います。
生涯学習課長	おっしゃるようなことも確かに考えられますので、この件につきましては補導員会の方に持ち帰って、今後の検討という形になってしまうんですけども、話し合いの場を持った上で進めていければと思っております。
金子委員	恐らく定例補導と同じような活動というのはできないと思いますが、月曜日から金曜日までの1日の中で、短い間でも特別班編成ができるようでしたらそれをお願いしたいと思いました。検討いただけるようでしたら、その方向で進めていただけると本当に嬉しいなと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	12ページの学校事故状況について、事故状況という中には、例えば熱中症で倒れたといったことは含まれますでしょうか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。

会議の経過	
学校教育課長	この学校事故の中には熱中症は含まれておりません。こちらに含まれるのは、児童生徒の1か月以上の治療を要するもの、又は救急搬送等があったものを学校から報告していただいております。熱中症の方は学校教育課で受けてまとめておりまして、5月の熱中症は2件の報告があります。1つは5月19日（日）に部活動中の女子バレー部の中学生にけいれんや手のしびれ、過呼吸の症状があったので救急搬送されました。入院はせずに翌日には元気に登校してきたということで安心しております。21日（火）には小学生が浄水場見学の帰り道に体調を崩して救急隊を要請したのですが、診たところ救急搬送するほどではなく、保護者がちょうど見えていたので保護者の方が自車で市外の病院を受診したということです。そちらの方も大事に至らなかったということです。ですので、熱中症は5月に2件あるのですが、事故状況報告には含めておりません。以上です。
木戸委員	いつのことか定かではないのですが、中学生が部活動の帰りに熱中症によって自宅前で倒れてしまって、偶然宅配便の方が発見されてその後病院へ連れて行かれたという話を聞いたものですから、質問させていただきました。昨年も過去一番の猛暑といわれておりまして、今年度もそれに増して非常に暑くなると聞いております。特に夏季の中学校部活動の帰りや、部活動そのものに対してどのような指導をするべきか、考えるべきかという点において、中学生がどれくらい熱中症になってしまっているなど、そういった情報をある程度出していただけるとありがたいかなと思いました。以上です。
学校教育課長	昨年も非常に暑くて心配な状況でしたが、今年度も校長会議や学校代表メール等で熱中症予防について注意喚起をしているところです。把握についてもこちらで検討して報告できるようにしていけたらと思っております。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	11ページにある校長会議の連絡事項の中に、人事評価における学び続ける研修履歴記録シートというものがありますが、シートの内容と活用方法等を教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	研修履歴記録シートですが、こちらは教員免許更新制の発展的な解消に伴って導入されたものです。令和4年度以前は記録しなくてもいいということで、令和5年度以降については「学び続けるぐんまの教員サポートマニ

会議の経過

	ュアル」に記録の仕方が掲載されています。こちらの記録シートは講習別に分かれておりまして、校長、教諭、養護教諭、栄養教諭の4種類のシートがあります。教頭は校長のシートを使うことになっております。1枚のシートになっていて、そちらには研修区分、研修を受けた年度、研修名と内容、そしてどのような区分や研修項目に当たるかという箇所もあります。研修区分は①から⑤まであるのですが、例えば区分①は文科省又は県教委の研修、②は長研や特研といった教育研修員の研修です。項目というのは指標に合わせてどの研修内容なのかということで、例えば校長であれば学校経営の研修なのか、学校教育の管理に関する研修なのか、教諭であれば学習指導の研修なのか、生徒指導なのか、又は学校経営に参画した研修なのかということで、それぞれ研修内容を一覧表にまとめています。教育センターのホームページ上の研修項目をクリックすると、該当の研修項目が出ております。研修記録シートの活用につきましては、研修を受けたことが記録することによって可視化され、自分自身の学びの成果がわかったり、振り返ったり、自分の成長につなげることができることと、記録することで自主的・自立的な目標設定に基づくキャリア形成にもつながることが期待されております。管理職の視点とすれば、この研修記録シートを用いて対話をしながら「あなたはこういうところで頑張っていますね。来年度はこのような校務分掌をお願いします」とか、授業で困っていることについて先生からの相談があれば「こんな研修があるのでやってみてはどうでしょうか」と、そのように対話に基づいて先生方の指導力アップにつなげられるのかなと思っています。以上です。
栗原委員	たくさん研修に参加している方はそれなりに記入する機会がありそうですね。あまり参加していない方がいれば、指導といったところまでではないですが、そのような活用方法ということなんですね。
学校教育課長	この研修記録シートは、異動する場合もそれを持って異動して、当初面談等の際に記録シートも含めて管理職と面談します。自己申告書を伴う最終面談の際にも、そのシートを用いて1年間こんな研修をしましたという話をします。そこで委員がおっしゃったように、何もしなかった場合は「来年度にもう少し取り組みましょう」とか、そういった声かけもあるのかなと思います。
栗原委員	効果的な活用がされるといいなと思います。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。

会議の経過	
堀口委員	1 2 ページの児童生徒の不登校状況についてですが、年度始めで昨年度よりも数字的に少し減少傾向が見られまして良いスタートかと思います。月の途中なのですが、ゴールデンウィーク明けの状況についてわかる範囲で教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	ゴールデンウィーク明けの状況につきまして、学校教育課の方ではっきりした数というのは把握しておりません。数字は毎月末で締めて翌月初旬に報告となりますので、5月の欠席状況は6月上旬に6日以上欠席について報告があります。ただ、ご指摘のとおり昨年度は4月が94名、5月が110名ということで16名増加しました。昨年度でいえば9月から10月が一番多く、18名の増加でした。先日、学校不適応対策会議というものがあったのですが、その中で指導係長が小中学校の教育相談主任の先生方に、ゴールデンウィーク明けの子どもたちの様子について問いを投げかけました。「先生方から見て不安を感じるような子どもたちはいますか」と聞いたときに、6名程度の先生方が手を挙げられたということでしたので、係長の方からもこういうゴールデンウィーク明けの子どもたちの様子をしっかりと見ていてほしいというお話をさせていただきました。以上です。
堀口委員	ありがとうございます。また来月数字を確認させていただければと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	31ページ、図書館で6月9日・23日に教養講座が開かれるようですが、この講座はどのような内容を教えていただきたいと思います。また、2日間実施するようですが、全く別の講座なのでしょうか。
図書館長	はい、教育長。
教育長	はい、図書館長。
図書館長	こちらの教養講座ですが、内容としては源氏物語入門講座になります。今まさに大河ドラマで注目を浴びております源氏物語につきまして、江戸時代の注釈書を通して読み解くという内容になっております。あわせて、現在図書館では源氏物語や平安時代に関連した本約100冊を企画コーナーに設置して貸出しを行っております。全2回という形にはなっているのですが、講師の先生のご配慮でどちらか1日でも参加できる日でとい

会議の経過	
金子委員	うことで、若干内容の方は変えられるように考えております。以上です。源氏物語は私も興味があるので、日曜日を楽しみにしています。確かに、図書館に行くと非常に本が揃っているなというのがわかります。この教養講座をはじめ、様々な講座を図書館が実施していますが、正直、図書館に行きますと本を読むか借りるかしかしておりませんでした。例えば映画会もそうなのですが、いつも後から知ることが多く、このような講座があるということは広報紙等に載せてあるのでしょうか。一般の方々はこの講座があることをどのような形で知ることができるのでしょうか。
図書館長	周知方法といたしましては、やはり広報紙や図書館ホームページへの掲載、今回の入門講座につきましてはチラシそのものが申込書としても使えるようになっておりますので、各公民館の方に設置をお願いしているところでございます。あとは、図書館内にいわゆるポスターといいますか、チラシを置いたり貼り紙をしたりということは行っております。基本的には月末整理の切替日に準備をするものですから、場合によっては若干遅れてすることもあるかもしれないのですが、基本的に募集はそういった形で館内での周知も行っております。もう少し目立つように努力をしてみたいと思います。
金子委員	ありがとうございます。私の方が気づかなかったのかもしれませんが。時間がありませんでしたら、私も様々な講座に参加したいなと思っております。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	16ページの児童生徒数について、表の見方がわからなかったのを確認させてください。令和7年度以降の各数字は令和6年度のどの箇所と比較するのでしょうか。合計と比較すればよろしいのか、普通学級と比較すればよろしいのかという点を教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	この表の見方ですが、令和7年度の児童生徒数は令和6年度の合計で見てくださいまして、学級数は普通学級の数で比較するのがいいかと思います。なぜそうなるかといいますと、特別支援学級に在籍する児童生徒の数が翌年度ははっきりしません。普通学級で比較した場合、現在は1学級35人となっていて、36人になると2学級になります。例えば36人学級があったとして、通常は2学級でカウントするのですが、年度が明けて普通学級から特別支援学級に2人移動して34人になってしまったときは、

会議の経過	
木戸委員	学級数が減となります。学級数が普通学級と正確に比較できるかというそれは定かではないのですが、見通しとして児童生徒数は合計で、学級数は普通学級で比較するのがいいと思います。以上です。 注釈の令和6年度以降には特別支援学級を含まないというのは、そういった意味で書かれているということですね。前のページにある新入生の数もそうですが、かなり子どもの数が減ってきていることが明らかになっていますので、これはまた別の機会の話になりますけれども、様々な課題が山積しているなと感じました。以上です。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	同じく16ページのところで、一小と八小の特別支援学級児童数がとても多く、学級数もあるのですが、学級の種別を教えてくださいと思います。また、今後その学級数が更に増えていくのかも教えていただきたいと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	一小から申し上げます。一小の特別支援学級は知的が10人で2クラス、情緒学級が26人で4クラス、それと難聴のお子さんが1人おりますので1クラス、合わせて37人で7クラスになります。八小の方は知的が11人で2クラス、情緒は21人で3クラス、合計32人で5クラスになります。今後の見通しにつきまして、毎年特別支援学級に入籍するかどうか、また適正な就学がされていないお子さんもおりますので、なかなか特別支援学級が増加するか減少するかというところはわからないのですが、来年度以降に向けて担当指導主事が各園を訪問しまして、支援が必要なお子さんはどのような状況なのか、何人くらいいるのかということで、年長と年中を中心に現在各園を回っております。そこで次年度の大体の状況なども把握しているところです。以上となります。
栗原委員	感想ですが、以前に比べて特別支援学級に入る児童が非常に多くなってきたのと、それだけきめ細かい指導が必要なのだと思いました。以上です。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	学校給食の献立について、今食材が非常に高騰しておりまして、今までと同じような食材を用意するのは大変なことなのかなと思っております。献

会議の経過	
学校給食センター所長	立表を作っても予算が実情と見合わなかった場合、献立表の変更などをするようなことはありましたか。
教育長	はい、教育長。
学校給食センター所長	はい、学校給食センター所長。
金子委員	献立につきましては献立会議というものを行っておりまして、栄養士と学校の栄養教諭で行っているのですが、それはもう随分先の方まで献立を決めてしまいます。現在ですと、9月くらいまではもう献立を決め始めているところです。その後に野菜や食料品の入札を行います。野菜は乱高下があるので何ともいえないのですが、そのほかの食材はある程度高騰が高止まりしているところであります。そのため、今年度は追加予算で3,200万円を上乗せしてありますので、それで今のところ何とか持っています。ただ、これ以上高騰してしまうと足りなくなってしまうので、最終的に足りなくなると補正予算ですとか、そういったことを考えなければなりません。献立は急に変えられないので、その中で事務的に予算が足りなければそういった対応をしていくということになります。以上です。 この間、たまたまテレビを点けましたら学校給食のことを話してまして、学校給食を担当している企業が3割ほど赤字だということでした。自治体によっては突然企業が倒産してしまって、給食停止するようなこともあるようです。学校給食で大切なのは質と量で、子どもたちの体重の増減を調べると8月にどうやら体重が落ちるそうです。8月は全く給食が出ていませんから、いかに給食が大切かということだと思います。この給食の質と量だけは絶対維持していかなければならないことで、給食センターの方たちもいろいろご苦労があると思います。給食停止などの最悪な事態にならないよう、補正予算など様々な点でバックアップしてくださっているのはわかりますが、最終的には給食費などについても検討せざるをえないのかなと個人的には思っております。保護者にアンケートを取りましたら、80%の保護者が「値上げしてもいいから子どもたちに良い給食を提供してほしい」ということで、値上げをした自治体があるというお話も聞きました。様々な方面から考えて子どもたちの給食を守っていかなければならないと思います。
学校給食センター所長	委員から学校給食費の値上げも含めていろいろお話をいただきました。これから学校給食運営委員会が6月に開催されますので、そういったところも少し議題に上げながら、実際の材料費と給食費にはアンバランスな点がありますから、それを少し整えようとも考えておりますので、検討してまいりたいと思います。

会議の経過	
金子委員	よろしくお願いいたします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	関連して、３３ページに市制施行７０周年記念献立と書いてありますが、どのような内容が出るのかということと、あわせて７０周年を記念した学校に基づくイベントなどがあれば教えていただければと思います。
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	こちらは６月２７日と２８日の献立です。ご存じのとおり市制施行７０周年記念ということで、子どもたちにも思い出に残るような給食を提供したいとセンターの職員が一生懸命考えたものです。１つは館林市のトマト、ナス、ズッキーニなどの地元野菜を使ったスパゲティです。これがまず１つあります。もう１つが厚焼き卵なのですが、今はレーザーで刻印ができるんですね。そこにぽんちゃんの絵柄を刻印して、厚焼き卵自体の味などは何も変わらないのですが、そのように少し面白みを加えています。それともう１つ、米粉パンというコッペパンのようなものなのですが、米粉で作ってあるパンに館林市産のブルーベリー、あとは缶詰になってしまうかもしれないのですが、パイナップルやみかんなど、そういったものとホイップクリームを自分でパンに挟んで作るフルーツサンドです。これは今まで出たことないので、恐らく大人気になるのかなと思っていますが、そういったものを提供する予定です。こちらの内容につきましては、５月３０日に記者会見で改めて発表しますので、そういったところでご承知おきいただければと思います。以上でございます。
栗原委員	楽しみですね。ぽんちゃんの描かれた厚焼き卵を５，０００食ほど用意するんですね。
学校給食センター所長	はい。レーザーで刻印ができますので、業者をお願いしてあります。
栗原委員	関連した７０周年記念の学校でのイベントはほかにもあるのですか。
学校給食センター所長	給食センターではございません。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	７０周年記念として、学校で何か特別に行うとは今のところ聞いておりません。各学校では創立何十周年など、そういった記念行事はされているかと思いますが、この７０周年記念につきましては特に話は聞いておりません。以上です。

会議の経過	
栗原委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	18ページの6月行事予定に里沼フィールドワークとありますが、第二資料館周辺で行うということでどのような内容か教えていただければと思います。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	こちらは第二小学校と現在進めているところでして、基本的には学校の課外学習といいますか、その一環となります。二小ですので城沼周辺をいろいろ巡っていただく予定で、今はまだ具体的にどの辺りを巡るかということで打合せしている段階です。昨年度も行いまして、城沼観光さんに舟を出していただいて城沼を横断してもらったり、善長寺に行ったりと、城沼周辺の史跡を巡ってフィールドワークを行いました。今内容を詰めている最中で、城沼周辺の見学コースについて調整していきたいと思っております。以上です。
堀口委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	24ページの体育館利用状況の一番下、その他スポーツの内訳にソフトテニスとありますが、体育館の中で実際に行ったのでしょうか。行ったのであれば、体育館にそういった設備があるかどうかもお聞きしたいです。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	お答えいたします。こちらはインドアテニスということで、実際に体育館の中で行っております。インドアテニスを行う場合、バレーボールコートを利用しておりまして、テニス専用の低いポールを立てて利用しております。またインドアテニスができる施設といたしまして、こちらに書いてあります郷谷の市民体育館のほかにダノン城沼アリーナでも行っております。ダノン城沼アリーナでは昨年空調工事の影響でできなかったのですが、冬場にインドアのテニス大会なども開催されております。以上です。
木戸委員	そもそもの話になりますが、インドアテニスとソフトテニスは使用面積なども含めて全く別のスポーツなのでしょうか。

会議の経過

スポーツ振興課長	ソフトテニス屋外スポーツの一つですが、冬場などには風の影響も受けやすいことからインドアで行っており、県や全国的な大会などもございます。ルール等につきましては一般のソフトテニスと同じとなっております。
木戸委員	私も中学校時代テニス部だったのですが、私の時代にはなかったと思います。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	17ページで、6月に茂林寺沼湿原の清掃やキショウバスターズなどが予定されています。過日の新聞にコウホネの生息が見られなくなったという記事が載っていましたが、茂林寺沼湿原の現状を少し教えていただければと思います。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	ご指摘のとおり、先日の上毛新聞に「コウホネ回復を本格化」という大きな見出しが掲載されております。この新聞記事にもありますが、令和3年にコウホネが枯れて死んでしまいまして、茂林寺沼で見られなくなった状況です。これは報道のとおりではあります。改めてお話ししますと、コウホネというのは今くらいの季節から夏にかけて黄色い可憐な花を咲かせる水生植物でして、水の綺麗な川や沼などを好んで生息するといわれています。近くですと、佐野の山から流れてくる清流付近にたくさん生えていまして、本当に綺麗な水がある場所に生息しています。今回枯れてしまったコウホネの一部でまだ再生できそうなものを多々良沼のビオトープに移動させまして、そこで栽培をしております。茂林寺沼の現状については、周辺の都市化・住宅化が非常に進んでおりまして、沼に流れ込む水量が減少傾向にございます。そのため、井戸を掘って水をくみ上げて水量を増やそうと長年やっているのですが、何しろ今稼働しているのが平成23年頃に掘った井戸でして、かなり老朽化が進んでいて、くみ上げる水量が減少傾向です。水の流れが止まってしまって水がよどんでいると、そこから水質の悪化が進んでいるのではないかと専門家から指摘を受けまして、今年度の予算で新たな井戸を掘り上げて水量を増やして、水の流れを作って水質浄化を目指していこうと現在進めております。水質浄化が進みますと、多々良沼に避難しているコウホネを本来の茂林寺沼に戻すことも可能かと考えております。この新設の井戸により水量が増えることを期待し

会議の経過	
栗原委員	て、早い時期から工事をしたいと考えております。
教育長	日本遺産の大切な構成要素の一つで、それが枯れてしまうとなると大変ですし、何もしないと本当に酷い状態になると思います。これからもお金がかかることだと思いますが、引き続きよろしくお願いします。
堀口委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
堀口委員	はい、堀口委員。
スポーツ振興課長	22ページの後援についてです。7月6日に市制施行70周年記念事業としてラグビーのイベントが載っておりますが、こちらは啓発のようなイベントなのか、それともラグビーの試合なのかを教えていただければと思います。
教育長	はい、教育長。
スポーツ振興課長	はい、スポーツ振興課長。
堀口委員	このイベントは館林市ラグビーフットボール協会の主催事業となっております。ラグビー競技の普及をはじめ、オリンピックの正式種目である7人制ラグビーの競技性を理解してもらうことを目的に開催するものです。イベント内容は少年の部、中学の部、女子の部、成人の部に分かれて、それぞれ交流試合を陸上競技場のフィールドで行うものとなっております。参加チームは埼玉や栃木のチームをはじめ、特に成人の部では日本初の7人制ラグビー専門チームであるサムライセブンや群馬県の国体選抜チーム、関東学院大学、山梨学院大学などの選手も参加していただけるといふふうに聞いております。以上です。
教育長	なかなかそういったゲームが見られることは少ないでしょうから、ラグビーを広める良いきっかけになればと思います。
木戸委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
木戸委員	はい、木戸委員。
向井千秋記念子ども科学館長	28ページの科学館の行事に関することで、4月6日のSORA-Qデモンストレーションの内容について教えてください。
教育長	はい、教育長。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
	まず、SORA-Qについてご説明いたします。SORA-Qとは、JAXAとおもちゃメーカーのタカラトミーなどにより共同開発された小型の変形型月面ロボットのことで、実際にSORA-Qは小型月着陸実証機SLIMから放出され、月面を走行し、搭載されたカメラでSLIMや

会議の経過

木戸委員 教育長 栗原委員 教育長 栗原委員	周辺を撮影いたしました。今回のデモンストレーションにつきましては、企画展「日本の月探査機『SLIM』について知ろう！」関連イベントとして、月面に見立てたシートの上で職員が実演しながら使い方や効果等を説明したものでございます。なお、このイベントは埼玉県吉川市教育委員会の協力を得てSORA-Qやパネルなどをお借りしてきたことから、企画展の会期が当初は3月31日までだったところを4月7日まで、いわゆる春休み期間中まで延長して実施したものです。以上でございます。 わかりました。ありがとうございました。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、栗原委員。 29ページのROCKET Labについて、6月は2回予定されています。今年度のROCKET Labは何回行うかということと、どのように周知されているのか教えていただければと思います。
向井千秋記念子ども科学館長 教育長 向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。 はい、向井千秋記念子ども科学館長。 まず内容についてですが、プログラミングやペットボトルロケット作り、クリスマスグッズ作りなど引き続き実施しているものをはじめ、植物を使ったシャボン玉作りや化石の発掘などの新たなもの、また、各課・施設や市内の企業と連携した事業などを実施してまいります。回数につきましては、昨年同様17回を予定しております。次に、周知方法について申し上げます。周知については校長会議等にて実施内容を連絡するとともに、各学校へ案内通知を送付しております。なお、過去に参加した児童生徒の保護者にも個別に周知しております。さらに、教育研究所を通しまして来所相談者やふれあい学級の通級生及びその保護者への募集案内を配布するとともに、フリースクール等に電子メールで募集案内を送付しているところでございます。以上でございます。
栗原委員 向井千秋記念子ども科学館長 教育長 堀口委員 教育長	学校になかなか行けていない子は対象だと思いますので、その子たちに届くような手段をとっていただければと思いました。 お話しいただきましたように、やはり学校に行けない子どもたちのきっかけをつくる事業でもありますので、そういった子に届くよう努めてまいります。以上でございます。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、堀口委員。

会議の経過	
堀口委員	22ページの工事等に関する事に城沼市民プールの運営委託がありますが、4月の定例会資料に昨年度のプール使用状況が前年度比で114%増加して使用料合計が420万円ほどと書いてありました。こちらの委託料と額に差がありますが、運営的には大丈夫なのでしょうか。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	ご質問にお答えいたします。おっしゃるとおり、城沼市民プールにつきましては運営費から使用料を差し引いても2,000万円ほどの公的負担が生じておりますが、社会体育の振興として幼児から一般まで幅広い市民の方に水泳を気軽に楽しんでもらえる場として、さらに、水泳の競技力向上に向けて城沼市民プールを運営している状況でございます。
堀口委員	毎年小学生の水泳記録会などもあって、50メートルプールが唯一ある場所なので、これからも何とか頑張って運営していただければと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	13ページの教育研究所について、4月10日に委嘱状交付と班別研究とありますが、班別研究の研究内容と期待する成果等を教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	3つの班で研究を進めていく予定です。1つ目は英語教育推進プロジェクトで、英語の授業を中心に行っていきます。2つ目は里沼シビック・プライドプロジェクトということで、地域への誇りや愛着、郷土愛というような内容で総合的な学習の時間を中心に行っていきます。3つ目が特別活動プロジェクト、特別活動の主任の先生方を中心に指導助言等を行っていきます。これらの内容につきましては、英語で主体的にコミュニケーションが図れる児童生徒の育成を目指していきたいと思っております。特に、英語のやり取りを実践して生きた英語でコミュニケーションを図れるようなことを期待しております。里沼の研究で今取り組もうとしているのが、中学区ごとに里沼学習を系統的に学習していくことです。そうすることによって、更に地域の里沼について郷土の魅力や誇り、そして愛着を感じる児童生徒が増えていくことを期待しているところです。最後に、特別活動では、特別活動の中の、特に学級活動を中心に研究を進めていく予定です。合意形成だったり、意思決定に向けて話し合い活動を実施することによ

会議の経過	
	て自分の意見や考えを伝えることができたり、友達とより良い方向に向けて話し合ったり協議したりすることを通して、子どもたちが学級に居場所や所属感を感じて、更に自己有用感が育まれればいいなと期待しているところです。以上です。
栗原委員	今日的な学校課題に向き合っているようなので、ぜひ大きな成果が得られることを期待しています。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。 (委員から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程第5 議事に入ります。 議案第37号 館林市田北東集会所運営委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
生涯学習課長	(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 館林市田北東集会所運営委員の任期は2年であり、令和6年3月31日の任期満了に伴い、委嘱しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。 (委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、議案第38号 館林市野辺集会所運営委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
生涯学習課長	(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 館林市野辺集会所運営委員の任期は2年であり、令和6年3月31日の任期満了に伴い、委嘱しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。 (委員から「なし」の声あり)

会議の経過	
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。
	(委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。
	次に、議案第39号 学校運営協議会委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
学校教育課長	(別紙資料に基づき説明)
	提案理由等： 館林市立第四中学校長より申し出があったため、6月1日付けで委嘱しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	第四中学校から申し出があったためということですが、何らかの理由があるのでしょうか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	第四中学校の方では昨年度の課題といたしまして、全ての地区から学校運営協議会委員を選出したいというものがありませんでした。堀工町だけいらないで済んだのですが、今年度になり堀工町で引き受けてくださる方が見つかり、学校の方から推薦がありました。以上でございます。
木戸委員	理解しました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
	(委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。
	(委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。
	次に、議案第40号 館林市立図書館協議会委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
図書館長	(別紙資料に基づき説明)
	提案理由等： 館林市立図書館協議会委員の任期は2年であり、令和6年9月30日までであるが、4月1日付け人事及び役職の異動等に伴い、後任者に委嘱しようとするものである。

会議の経過	
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。 (委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。
学校給食センター所長	次に、議案第41号 館林市学校給食運営委員会委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。 (別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 館林市学校給食運営委員会委員の任期は1年であり、令和6年3月31日をもって任期満了となったため、新たに委員を委嘱しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。 (委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。
教育長	次に、議案第42号につきましては、館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、ただいまから教育委員会を非公開とします。対象者については一時退室を願います。 【傍聴人 退室】 (非公開) 【傍聴人 入室】
教育長 図書館長	次に、日程第6 その他で何かございますか。 はい、教育長。

会議の経過	
教育長 図書館長	はい、図書館長。 皆様のお手元にお配りしたカラフルでいかにも楽しそうな資料をご覧いただきたいと思います。以前の定例会でもご質問いただきましたぬいぐるみお泊り会について、今回の事務処理報告の中にもありましたので参考に本日配付させていただきました。こちらにつきましては、念のために著作権対策でぼかしを施させていただきました、こちらの資料をパウチしたものと本を3冊貸し出すということで、ぬいぐるみを引き取りに来た時に参加者へ配布したものです。基本的に集合写真や皆で一緒に読んでいるものは共通の写真を使っておりますが、例えば右上のその子の絵本を選んでいる様子ですとか、左下のカウンターで貸出し業務を体験しているような様子の写真につきましては、その子のぬいぐるみが写っている写真に変えたものを各お子さんに一緒にお渡しさせていただきました。その後、保護者の方に様子をお伺いしたところ、貸し出した本を「これはぬいぐるみの何々ちゃんを選んでくれた本なんだ」と言って読んでいるお子さんがいらっしやったり、この記念写真を何度も見たりして嬉しそうにしているお子さんがいると伺っております。今回初めての事業でありましたが、大分好評だったのではないかとこのように捉えております。以上です。
教育長	この件について、何かご質問等ございますか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	ぬいぐるみの名前ですが、これは持ち主のお子さんが付けたものですか。
図書館長	はい、教育長。
教育長	はい、図書館長。
図書館長	こちらは申込みの際にそのぬいぐるみの、お友達のお名前を一緒に記入していただいております。その名札を作らせていただきました。以上です。
金子委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、その他で何かございますか。 (委員等から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。 これにて教育委員会を閉会します。(午後4時20分)